

# 岐阜県の プラスチック

「人材高度化支援事業意識調査」と「小企業経営動向調査」  
┌──────────新事業・二つの調査事業に取組開始──────────┐

人材高度化の推進委員が可児工業団地を視察  
「不況の時こそ攻めの経営が大切…」特別講演会開く  
新年互礼会は1月16日にグランヴェール岐山で開催  
デザインの心-20  
組合員の工場訪問・イセヤ  
事務局だより

人材高度化支援事業の推進委員が先進組合・可児工業団地を視察し懇談



新事業・二つの調査事業に取り組む

# 人材高度化事業の意識調査

## 小企業の現況と今後の動向調査

岐阜県プラスチック工業組合は『小企業経営動向調査』と『人材高度化支援事業意識調査』の二つの調査事業を開始した。いずれも5月総会で決定した新事業で、経営動向調査は小企業の現況と経営動向を聞き取り調査し、不況の影響が一段と厳しい小規模企業を側面から支援していく事業。また、意識調査は人材高度化支援事業を進めるに当たって人材育成事業の推進方向を策定するため、経営者の意識と企業の実態を調査する。

とかく調査事業は記入が煩雑なことから敬遠されがちであるが、正確で効果的な事業方向を探る意味から、組合員企業の協力が要請される。

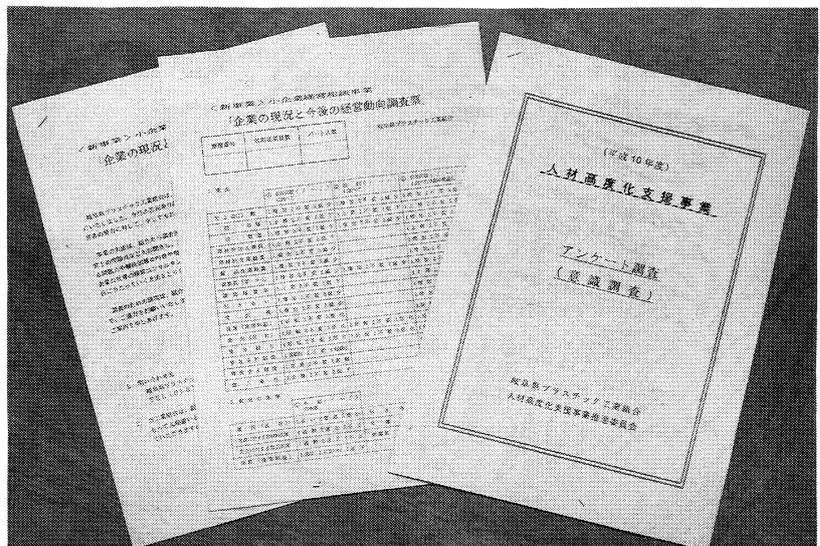
### 準備事業を方向付ける

人材高度化支援事業は「製品の高付加価値化や事業の新分野展開を担える人材の育成」を組合ぐるみで推進するのがねらい。

労働省・雇用促進事業団の助成金を得て行う事業で、今年度は工業組合が教育訓練を実施するための事前準備として「人材高度化準備事業」を行うもの。意識調査は準備事業の方向付けと骨格を形づくるのがねらいである。

意識調査は無記名のアンケート方式とし、調査票は近く各組合員企業へ送付する。

調査の内容は①企業の現況②課題と展開③人材の育成（研修事業）との関連－3項目に分れている。企業の現状の設問では「自社の技術水準」「技術化の能力」「専門分野の構成」「成形方法など生産分野」「下請け比率」など。課題と展開では「製品開発の方向」「拡充・強化したい専門分野」「今後、重点を置く分野と計画」



経営動向調査と意識調査の二つの調査用紙

「ISOへの対応状況」など。

最後は、事業の柱となる人材の育成（研修事業）についてで「研修の実情」「研修に対する目的」「研修への期待度」「研修期間と構成」などを設問している。

### 2年度目から具体的な研修に入る

工業組合は、この意識調査をもとに組合員が求める研修事業に対するニーズや方向性を探り①職業能力開発の体系図を作成②組合員企業へ

の広報③研修を担当する講師の育成—などに取  
り組む。

こうした人材高度化準備事業は今年度までに  
行い、2年度目からは3年間の継続事業として  
「人材高度化訓練運営事業」に入っていく。工  
業組合の役割は、組合員企業の従業員に対する  
教育訓練の運営を行う。一方、組合員企業では  
①企業内研修②企業外研修③自己啓発④出向・

出向者の雇い入れ—など従業員に対して具体的  
な教育訓練を行う。

なお、組合員企業が教育訓練を行う場合には  
「人材高度化能力開発給付金」の対象となり、  
助成金が支払われる。助成額は、教育訓練に使  
用した運営費、受講費、派遣費及び受講者の賃  
金の4分の3にのぼり、企業側の負担はかなり  
軽減される。

## 経営の動向や問題点を聞き取り調査

指導希望により経営コンサルタントを無料で派遣

小企業経営動向調査は、長引く不況に対し、  
必死に経営努力をされている組合員企業の実情  
を把握し、組合としての対応策を進めていくの  
がねらい。

実施方法は、組合から担当職員を巡回・派遣  
し、企業の経営動向、経営環境など経営上の問  
題点を聞き取り調査していく。調査対象は従業  
員の規模、10人以下を対象に行う。

その調査内容は①業況②業況の水準③設備投  
資の状況・計画上の問題点・困難な点④今後の  
指導希望⑤直面している経営上の問題点—など  
である。

### 業況では売上など18項目を調査

とくに業況では、売上げ、原材料、従業員、  
操業率、引き合い、採算性、資金繰りなど16項  
目を前年同期、また前期に比べて「増加してい  
るか」「不変か」「低下しているか」を調べた後、  
来期の見通しを聞く。業況の水準では、採算が  
「黒字か」「収支トントンか」「赤字か」を問う。  
設備投資の状況では、「実施したか」「計画して  
いるか」また、その場合の問題点・困難な点を  
調べる。

最後の経営上の問題点は「新規参入業者の増  
加」「人件費の増加」「製品単価の低下・上昇難」

「取引条件の悪化」「事業資金の借り入れ難」な  
ど、ピックアップした23項目の問題点から指摘  
してもらう。

### 調査結果は分析して解決策を探る

工業組合では経営動向の分析、また、各組合  
員企業から出された問題点・提言・要望などを  
まとめて具体的な解決策を見出ししていく。さ  
らに寄せられた指導希望によっては、岐阜県中  
小企業振興公社、商工会議所、中小企業相談所  
などの経営コンサルタント及びアドバイザーと  
同行し、助言・指導（費用は工業組合負担）を  
受けながら解決に当たっていく。

#### 貸し渋り110番と金融相談窓口の設置

総合経済対策の一環として中部通商産業  
局に「貸し渋り110番」と金融面の「中小  
企業対策相談窓口」が設置された。

貸し渋り110番は、中小企業者がもし貸  
し渋りと思われる経験があった場合、ファ  
クシミリ（052-951-9800）か、電子メール  
（qchbic@miti.go.jp）へ情報の提供を呼び  
掛けている。また、中小企業対策相談窓口  
（052-951-2748）まで電話を。

# 「不況の時こそ、攻めの経営が大切…」

講師は齋藤公一氏 関連4団体で特別講演会

岐阜県プラスチック工業組合は9月8日、大垣フォーラムホテルで特別講演会『平成大不況に克つ…攻めの経営革命』を開催した。この講演会は岐阜県金型工業組合、岐阜県金属プレス工業会、大垣市鉄工協同組合など4団体共催で実施したもので、正念場を迎えている不況克服への貴重なアドバイスを受けた。

招いた講師は、全国15都市を拠点に実践的で、地域密着型のコンサルタント活動を展開している(株)日本経協センター社長の齋藤公一氏。



## 時代に適合するものだけを取り入れよう

齋藤講師は最初に「これまでの不況の歴史を見ると、常に新陳代謝が展開しているといえる」と前置きして、多くの経営者の行き方を紹介した。

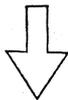
そこに共通することは「マーケットが受け入れられないものは捨てて、その時代に適合するもの

## 4団体共催で開いた不況克服への特別講演会

だけを取り入れる」「技術の開発、人の開発、商品の開発…。下請中小企業は資本力や大きな組織がないから、この三つに取り組みないと残れない」という。しかし、ヒット商品が生まれて高いシェアを確保したからといって安閑していると、その企業は伸びない。社内に危機感がないので、マンネリ化してしまう。常に「新しい分野への進出」を図っていかないと会社は成長していかない。

### I. 不倒企業条件

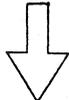
Key word  
★基本と定石の無視



- ①手形切らない
- ②30%以上の集中顧客を作らない
- ③権限を集中しない
- ④保証人にならない
- ⑤相場に手を出さない
- ⑥後継者対策を誤らない
- ⑦致命的公私混同しない
- ⑧金融機関対策を怠らない
- ⑨内紛、同族経営で失敗しない
- ⑩うまい話に乗らない

### II. 成長発展阻害要因

Key word  
★敵は内にあり



- ①志を失う
- ②思いつき経営をやる
- ③支えられない
- ④動機づけが出来ない
- ⑤戦闘力がない
- ⑥規模対応不可
- ⑦トップが戦術・戦闘のみ
- ⑧トップが戦略志向のみ

## 経営方針がなければ人はつかない

また齋藤講師は「会社の力は、経営者の能力やキャパシティーで決まる」という。会社の力を大きくするには「経営者自身が自助努力をし、変わる努力をすること。一口にいうと、攻めの経営を行っていくことで、確信を持ち、自信を持って進まなければならない」「会社には経営方針がなければ、人はついてこない。目標達成

には、各ポストは何をやるのかをはっきりさせる」「決まったことは、決まったようにやれるように、役割分担をはっきりさせる。マンネリ化を排除し、信賞必罰の方針と実行は、人を動かす大切な要件である」などとも話した。

### 基本と定石を無視してはいけない

経営者がこの平成大不況に恐れることは「企業倒産」で「会社が倒産しては、経営者失格である。企業規模が大きくなればなるほど、その危険度が増してくる。規模が大きくなればなるほどブレーン（弁護士、経理士、労務士）を増やし、会社を守っていかないと生き残れない」という。

「会社は倒産させてはいけない。」その不倒企業の条件とは「基本と定石を無視してはいけない」こと。その不倒企業の10の条件とは①手形を切らない②30%以上の集中顧客を作らない③権限を集中しない④保証人にならない⑤相場に手を出さない⑥後継者対策を誤らない⑦致命

的な公私混同はしない⑧金融対策を怠らない⑨内紛、同族経営で失敗しない⑩うまい話には乗らない—ことである。

最後に斎藤講師は、故・松下幸之助氏の『不況心得』の中から次の心得を紹介し、大不況克服に取り組む経営者を激励した。

「不況といい好況といい、人間がつくり出したもの。人間がそれを無くせないものはない」

「不況の時こそ、発展への千載一遇の好機である。商売は考え方一つ、やり方一つでどうにでもなるものだ」

「かつてない困難、かつてない不況からは、かつてない革新が生まれる。それには技術における革新、製品開発、販売、宣伝、営業における革新である。そしてかつてない革新からは、かつてない飛躍が生まれる」

「不景気になっても志しさえしっかり持っておれば、人を育て、さらには経営体質を強化する絶好のチャンスになる」

---

---

## 総合経済対策で新制度

### ┌── 資金確保で金融対策を強化 ──┐

中小企業庁は、中小企業者に円滑な資金供給を確保するため、総合経済対策の一環として次の中小企業金融対策をとった。詳しくは中小企業金融公庫、国民金融公庫、商工中金の各支店か県信用保証協会へご相談ください。

〈金融環境変化対応特別貸付の創設〉金融機関との取引に著しい変化が生じ、資金繰りに支障をきたす恐れのある中小企業者に、貸付限度額とは別枠で運転資金を融資する。

〈小企業等経営改善資金融資の拡充・強化〉マル経制度のことで、限度額を1,000万円まで貸付期間も1年延長になった。

### 〈中小企業運転資金円滑化特別貸付の創設〉

業況が芳しくないが、中長期的には企業維持が見込まれる中小企業を対象に、貸付額の50%を限度として担保徴求の緩和を伴う貸付制度。

〈中小企業事業展開支援特別貸付の創設〉事業拡大後の初期段階ではコスト・アップのみが先行するため、低利融資により中小企業を支援するための特別貸付制度を創設。事業拡大とは新たな設備投資で、3人以上（20人以下の企業は1人以上）の人材確保が見込まれるもの。

〈信用保証協会の債務保証限度額の倍額〉特定業種の見直しがあり、プラスチック製日用雑貨・食卓品製造業が指定された。この業種指定により一般保証限度額に同額の別枠保証限度額が加わり、結果的には倍額になった。

# 先進組合のノウハウを勉強

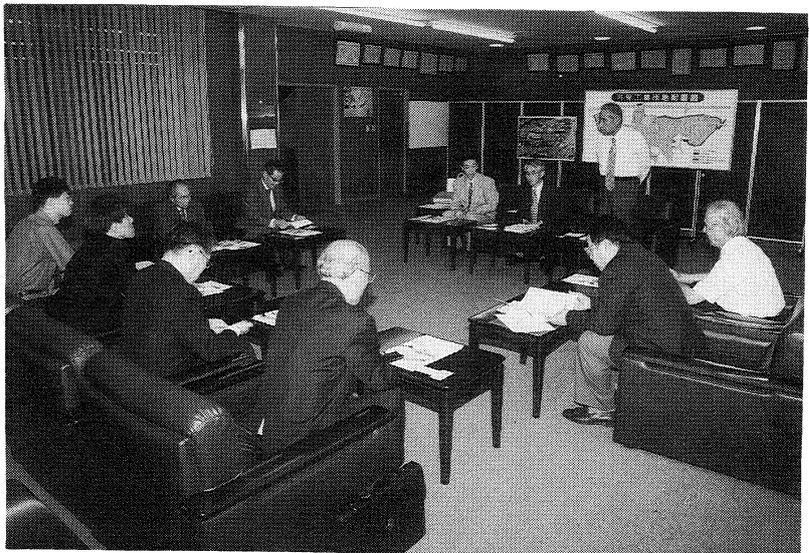
推進委員が先進の可児工業団地を視察

## 人材高度化支援事業の準備事業進む

工業組合は『人材高度化支援事業』の初年度事業として、推進委員会（委員長・大松春雄岐阜県プラスチック工業(株)常務取締役）を設け、種々の準備事業に取り組み開始した。トップ記事の『人材高度化支援事業・意識調査』に先立ち7月28日に行ったのは、推進委員による先進組合及び企業の『視察研修会』。視察先は可児市にある岐阜県可児工業団地協同組合で、平成8年度から実施している同事業のノウハウをつぶさに勉強した。

### 可児団地は県下最初に 人材高度化事業を実施

人材高度化支援事業は「製品の高付加価値化や事業の新分野展開を担える人材の育成」を組合ぐるみで推進するのがねらい。推進委員による視察研修会は、その「人材高度化支援計画及び改善計画」の作成に向け、先進組合の実情調査を行ったもの。



今回の調査対象となった可児工業団地は、昭和48年くらい可児市南部に2期にわたって開発・造成された総面積121㍍に及ぶ県内最大の工業団地。30社からなる高度化集団組合・岐阜県可児工業団地協同組合と、大企業を含めた進出48社で組織する協同組合岐阜県可児工業団地管理センターで構成している。業種は航空機、自動車、電気機器、工作機械、住宅機器などで、ここに働く従業員は4,200人、来年からは南部地域の開発が進むので、近い将来に従業員は5千人を超えるという。

研修は工業組合の大松春雄推進委員長のあいさつで始まり、可児工業団地協同組合の佐藤範

一専務理事と藤岡正迪事務局長が、岐阜県下最初に人材高度化支援事業と取り組んできた貴重な経験を次のように話した。

### 訓練運営事業の第2年度目に

CADやISOシリーズも

可児工業団地が事業に着手したのは平成8年度、同9年度から訓練運営事業に入り、今年度は訓練運営事業の第2年度に入ったところ。

最初に行った訓練運営事業は「中堅社員研修…部下の育成とOJTの進め方」「新入社員研修」「機械講座…機械図面の見方」など。また

職業能力開発体系にもとづく能力開発セミナーは①機械の基礎講座②自動化技術③コンピュータシステム④管理サービスなど11コース。

第2年度として実施中の能力開発セミナーは訓練運営事業が「新入社員研修」と「新入社員フォロー研修」の2コース。また、職業能力開発体系では①機械の基礎②機械の保全③コンピュータシステム④管理サービスなど17コースにのぼり、内容は初年度とは異なり、CADの使い方やISO9000シリーズなど一段と高度な能力開発になっている。

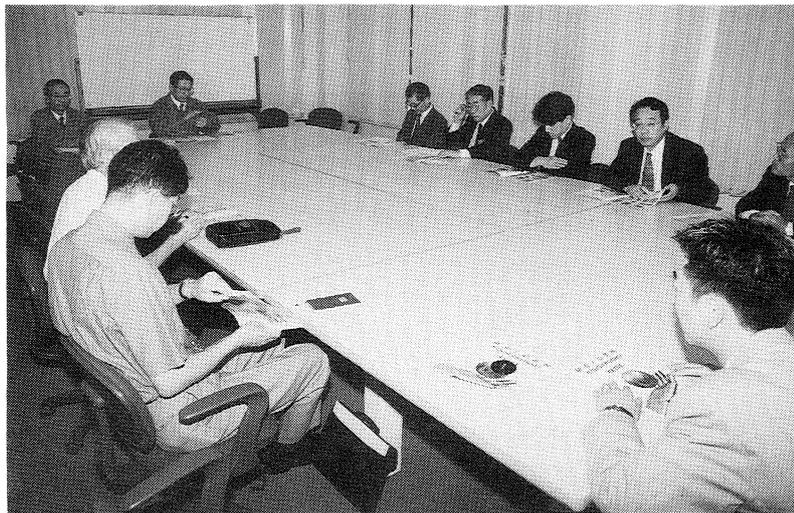
### 組合の会館が大きな役割を果たす

可児団地が準備事業1年、訓練事業2年目に入ってまとめた評価は、

「訓練会場はポリテクセンター岐阜に加え、参加者が多い研修コースは参加しやすい組合会館を活用でき、スムーズに実施できた」

「団地企業には高度な機械設備が入っているので、各コースともに高度な内容になった。とくにパソコンやTWI管理コースは定員をオーバーする盛況さだった。専門の能力開発体系は10人程度が良い。多人数になると管理しにくくなるから…」

「団地企業は異業種なので、研修テーマを絞



名電工作所で水野社長から人材教育の話聞く推進委員

りにくかったが、経営者の意識改革に力を入れた。この結果、9年度の事業消化率は90%を達成した」など。

### 難しかった業界内の講師育成事業

反省点及び工業組合へのアドバイスとしては「事業主が行う人材高度化能力開発給付金を申請する企業は、予想外に少なかった」

「準備事業の時からポリテクセンターの協力を得て、講師育成に力を入れたが、対象となる人は会社で担当する仕事に忙しく難しかった。結果的には外部講師に依存した」

「かつて実施した人材確保推進事業に比較すると、この人材高度化支援事業は講師育成が中心で、事業全体では制約が多すぎる」

「組合が行う訓練運営事業は助成額が2分の1、また、個々企業が行う能力開発給付金は4分の3、いずれもこの厳しい不況時には負担額が重すぎる」などとしている。

### 係長は経営の最先端ポスト

名電工作所も訪問、視察

工業組合の人材高度化支援事業推進委員は、可児工業団地協同組合で事例研修を行った後、団地内企業・(株)名電工作所を訪問した。同社は制御盤、操作盤から工作機械や各種機器の板金加工製品を設計から一貫生産している金属加工メーカーで、昭和44年に操業、同54年に団地へ進出した会社。従業員は80人である。

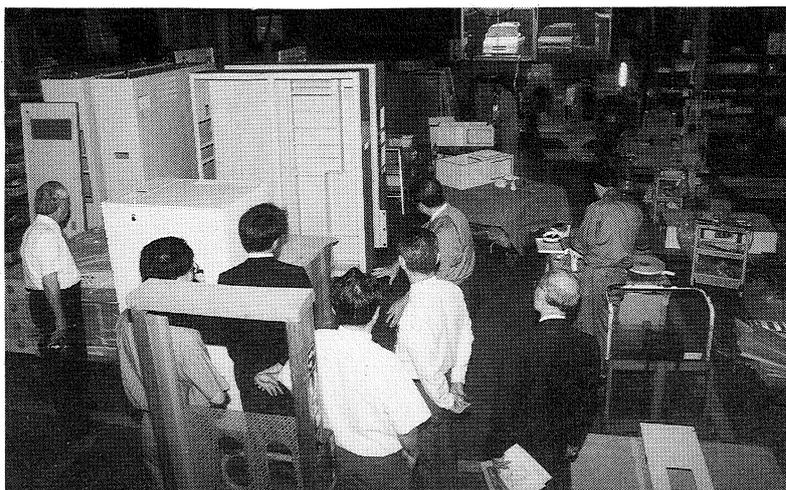
最初に水野雅夫社長から会社概況と人材教育の説明を聞いた後、工場内の各工程を視察した。

その中で水野社長は「この業界は、良くなるのも悪くなるのも早

い。その解決策として昭和60年に経営体質強化に向け、大型コンピュータを導入し、生産管理システムを定量管理方式とした。それが軌道に乗り、業績は向上し、岐阜県知事から表彰を受けた」と、前置きして従業員教育や工場内の環境改善について説明した。

「従業員の平均年齢は35.1歳。今年の高卒入社は6人。最近は遅刻、休日が多く、定着率は悪い。

入社時に親を同伴、外車に乗ってきた新入社員もいた。初月給には現金を渡し、親に渡せといて教育している。新入社員教育は青年の家で合宿訓練をやり、根性教育からやっている」

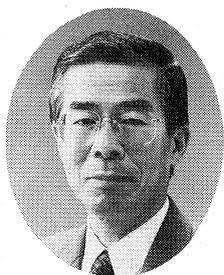


名電工作所の組立工場を視察する推進委員会の一行

「係長職は、経営の最先端にいるとし、毎月手当5千円をつけ、また、毎週会議をやって意識改革を行っている」

「会社の経営概況を毎月説明し、授業員に理解を求めている」

### 新年互礼会は1月16日



講師の上甲氏

岐阜市内にあるホテル  
グランヴェール岐山で

工業組合の恒例行事・新年互礼会は、平成11年1月16日（土）午後2時から岐阜市内のホテルグランヴェール岐山で開催する。今年度は創立30周年に当たるが、不況の折り、質素に記念表彰と記念講演を行う。

講演は松下政経塾の塾頭として活躍された上甲晃氏を招き「人づくり」の話を聞く。

「全社的に不良品撲滅運動とキズゼロ運動を展開、不良品を出した従業員には赤いバッジを付けさせるなど意識を変えさせている。また、プロジェクトチーム・クリーンチャレンジを組織して工場内の環境整備に取り組み、近年は品質向上へ成果が出始めた」など。

ポリエチレン  
**スミカセン**<sup>®</sup>  
エチレン酢酸ビニル共重合樹脂  
**エバテート**<sup>®</sup>  
ポリプロピレン  
**住友ノーブレン**<sup>®</sup>  
ポリスチレン樹脂  
**エスプライト**

塩化ビニル樹脂  
**スミリット**<sup>®</sup>  
メタアクリルシート  
**スミペックス**<sup>®</sup>  
メタアクリル樹脂  
**スミペックス-B**<sup>®</sup>  
高密度ポリエチレン  
**スミカセンハード**

熱可塑性エラストマー  
**住友TPE**  
合成ゴムSBR  
**住友SBR**  
合成ゴムEPR  
**エスプレン**<sup>®</sup>  
エチレン酢酸ビニル  
塩化ビニル共重合樹脂  
**スミグラフト**<sup>®</sup>



## 住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)  
電話 <052> 201-7571

# デザインの心-20

## ドムスアカデミーデザインセミナー

### 岐阜県プラスチックデザイン協会

岐阜県は、昨年からイタリアのデザインの大学院大学であるドムスアカデミーから世界一流の講師を招いて、セミナーを開催しています。これは、岐阜県産業のデザイン力を世界に通用するレベルに引き上げていく一つの試みとして行われているものです。今年も、9月7日から11日までの5日間、岐阜市の未来会館で行われました。

#### 9月7日 オープンセミナー

約150人の聴衆を前にアンドレア・ブランツィ氏が「イタリアデザインにおける産業と工芸」、バルバラ・トレビッチ氏が「これからの1千年における過去と未来の概念展開」という演題で、今話題の新素材を使用した新製品開発事例や過去のファッションデザインを題材に今後のデザイン開発の方向性について講演をされました。

#### 9月8日～11日 クローズドセミナー

インダストリアルコースとファッションコースに分かれ、それぞれ12人、10人の参加者がありました。このクローズドセミナーでは、参加者をいくつかのグループに分け、そのグループで1つの課題に取り組むという形でいわゆるワークショップが行われました。

さて、このセミナーに残念ながら参加できなかった方々に、少しだけアンドレア・ブランツィ氏のお話（抜粋）を紹介します。

日本の工業製品は、1970年代から80年代後半にかけて「欧米に追いつけ、追い越せ」という姿勢で生産されてきた。その結果、日本の工業は大成長をとげたが、所詮欧米のコピー版でしかなかった。

今、日本の産業は今までとは違った視点で考える時期を迎えている。最近、欧米が本気でアジアの伝統に目を向け始めており、ここで日本の伝統を活かしたものを提案できれば、今までとは違った発展を遂げることができるだろう。

これは、単に伝統を守れというのではなく、伝統を再評価し、新しいものづくりに役立てるということである。

これまで「伝統品」と「大量生産」とは別扱いされてきたが、今の時代は「大量生産品」でももっと洗練されたものが求められている時代である。例えば「美濃和紙」は世界中でよく知られた製品であるが、販路をみてもわかるように依然として高級品扱いである。これでは、いつまでもたっても生産や販売が拡大しようがない。そこで、大量に消費する方法論を考える必要性が出てくる。ただし、今までの既成の用紙の代替品であってはならず、新しい使い方を新製品開発を通じて提案しなければならない。

また、日本の食器はデザインも技術も大変素晴らしいが、欧米からすれば、日本で使う食器の範囲を出ていない。漆も現在は限られた商品のみにはしか施されていない。欧米で使用するための日本の伝統技術やデザインを活かした食器の提案が期待されるし、漆の特性を活かした使い方はいくらかでも考えられる。

幸い、岐阜県にはいくつもの伝統産業があり、新産業もある。この二つを如何に結びつけ、さらに市場と結びつけていくかが岐阜県産業の今後の課題である。

—岐阜県商工労働部工業振興課

デザイン振興係—



## 事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

### □J P F展にリスと八幡化成が出品□

23回全日本プラスチック日用品フェアが今年も東京ビックサイト（東4～5ホール）で開催されます。日本プラスチック日用品工業組合の主催で、会期は10月8～9日の2日間です。出品企業は全国の関連メーカー・商社120社で、工業組合関係からリス(株)と八幡化成(株)の2社。

リス(株)は5コマで、収納用品プレジオビータ浴用・卓上用品マリクレールにウッディライフなど約300点の新製品を出品されます。

八幡化成(株)は3コマで好評のGマーク製品をはじめバケツ、屑入れ、収納箱など色調とデザインに特徴のある約100点を出品されます。

### □名古屋プラスチック展に見学バス□

名古屋市国際展示場・ポートメッセなごやで

は「98名古屋プラスチック工業展」が開かれます。11月14日（土）から4日間で、協賛している工業組合では見学バスを計画、近く会員募集を行います。出品は幅広く、成形機から製品まで予定されます。



上はそのポスター

## 岐阜県のプラスチック 1998 143号

平成10年9月30日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号  
(岐阜産業会館4階)

電話 (058) 272-7173

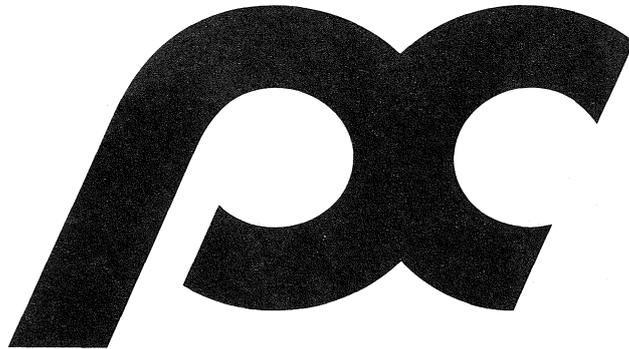
FAX (058) 276-1525

### 岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 井森 秀敏

# 創世ポリケム・パワー

質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニー



三菱化学と東燃化学との創造的な出会いから生まれたポリケムは、平成8年9月、質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニーをめざしスタートしました。ポリオレフィン樹脂のスペシャリストとして、国内では最大、世界でも有数の規模を誇るポリケムは、四日市・川崎・水島の3技術センターのそれぞれの特長を活かし、多種・多様で高品質のポリケム・バリューをお届けしてまいります。

技術と信頼の証 **ノバテック**  
NOVATEC

NOVAは「新星」。  
ポリケムは、常に先進の技術革新に取り組み、最新・最良の品質のポリオレフィン樹脂「ノバテック (NOVATEC)」をお届けします。

高密度ポリエチレン	ノバテックHD
低密度ポリエチレン	ノバテックLD
直鎖状低密度ポリエチレン	ノバテックLL
直鎖状低密度ポリエチレン	ノバテックC6
エチレン-酢酸ビニル共重合樹脂	ノバテックEVA
ポリプロピレン	ノバテックPP

**日本ポリケム株式会社**

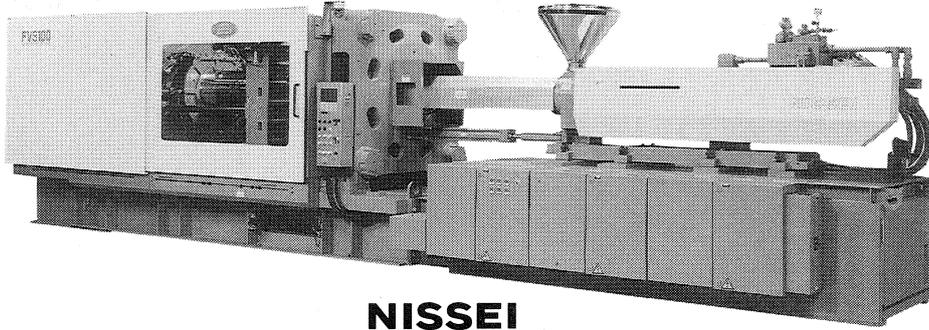
東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル 千100  
TEL 03-3287-8010 FAX 03-3287-8040

# 時代を創る 時代に答える

私たちNISSEIは、射出成形機の専門メーカーとして、プラスチック成形技術の開発に努めてきました。  
成形機を中心に金型・生産システムなど、技術の幅を広げ、国内トップメーカーとして業界をリードしています。  
プラスチックの活用はますます裾野を広げる中、プラスチック応用技術を通して、活力ある産業社会、心豊かな生活文化の創造に貢献しています。  
「人と暮らしに役立つ、新しいモノづくり」これが私たちの恒久のテーマです。

新たな発想で生まれた高性能・低価格大型機

## FVシリーズ (FV9000, 9100, 9200, 9400)



**NISSEI**

**日精樹脂工業株式会社**

■名古屋営業所 / 愛知県小牧市外堀2-167 ☎ (0568) 75-9555(代)

■岡崎出張所 / 愛知県岡崎市上六名4-1-8三剛ビル1F ☎ (0564) 52-1430 ■三重出張所 / 三重県津市神戸横田203-4 ☎ (059) 224-0716

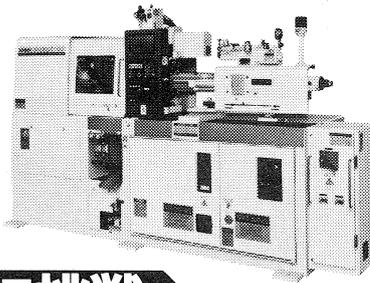
■本社・工場・研究開発センター / 長野県坂城町南条2110 ☎ (0268) 82-3000(大代表)

■東京事務所 ■テクニカルセンター / 本社・相模原・岩槻・名古屋・大阪 ■営業所 / 全国11カ所 / 出張所 / 全国19カ所 ■海外サービスステーション / 28カ所

● <http://www.nisseijushi.co.jp>

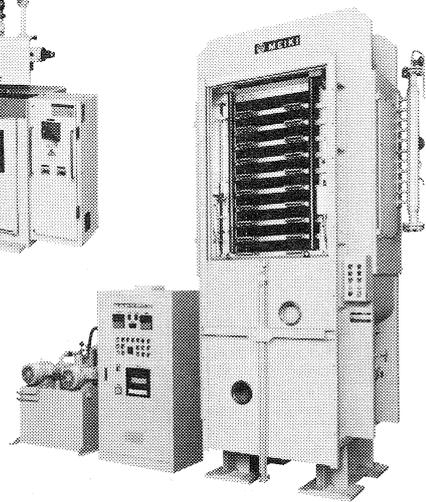
# MEIKI

DVD専用機

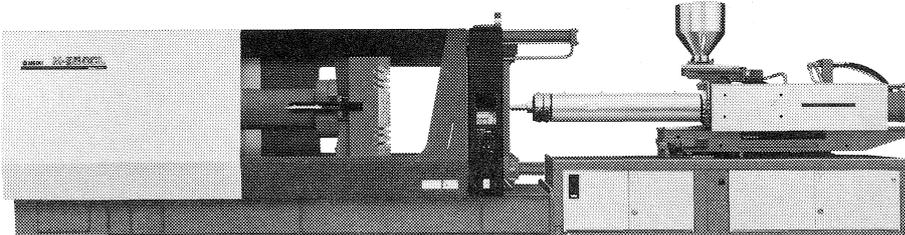


## ハイテクノロジーに挑戦

プラスチック、光ディスク (DVD) 射出成形機、  
IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、  
世界の名機として活躍しています。



IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機



株式会社 名機製作所

本社・工場 〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎ <0562>48-2111(代)  
中部支店 〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎ <0562>47-2391(代)  
岐阜出張所 〒501-61 岐阜県羽島郡岐南町上印食8-104 ☎ <058>247-2674

# 化学の、もっと大きな可能性へ。

私たちがめざすのは、新しい時代の化学会社。

よりグローバルに、よりダイナミックに、もっと大きな可能性を求めて、

三菱化学は世界の期待に応えます。

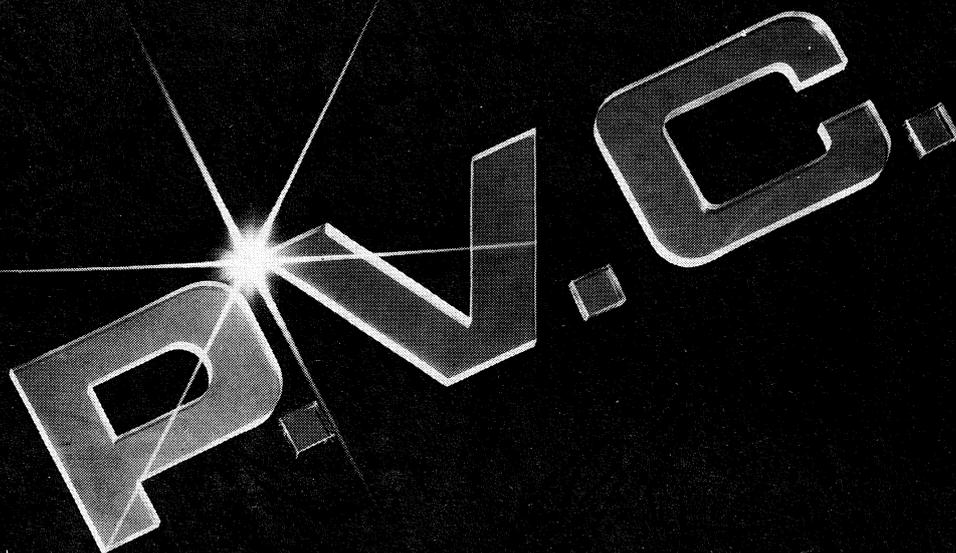


三菱化学

▲三菱化学株式会社 東京都千代田区丸の内2-5-2 〒100(三菱ビルディング) Telephone:03-3283-6274(ダイヤルイン)

## ShinEtsu 信越PVC

生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC



PVC

信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館)  
☎(052)581-0651

くらしのこだわり...

HOME &  
HOME

-RISU BASIC-

リズ株式会社  
CROISSANTE



## より洗いやすく、より快適に。

キッチンウエアはいつも清潔にしておきたい。

そんな要望にお応えして、リズは「より洗いやすい」形状と素材を開発しました。

### キッチンウエア 3つのPoint

ポイント  
2

**洗い易い**かたち

余分な凹凸を無くし、洗浄がラクラク

ポイント  
1

**汚れ防止加工**

台所の汚れが付着にくく落ちやすい  
特殊加工の素材を使用しています

ポイント  
3

**抗菌 めめり防止加工**

半永久効果持続、無機系抗菌剤だから安心

 **リズ株式会社**

岐阜プラスチック工業株式会社

岐阜プラスチックグループ

●本社：岐阜市神田町9丁目25番地  
TEL：<058>265-2233

●リスパック株式会社 ●リスエンジニアリング株式会社  
●リス株式会社  
●リス興業株式会社